

どうする私たちの町づくり

一般質問

こころが

知りたい！
聞きたい！



平野 和生 議員

7月の豪雨災害について

問 7月6日～7日にかけての豪雨により、浮島地区では民家3軒、漁協事務所2棟に土砂が入り込み、みかん小屋等、4棟も全半壊となり、住民7名が命からがら脱出したところである。

樽見～江ノ浦間の3本の幹線道路のうち、町道2本は数十メートルに渡り崩落し、復旧にはかなりの日数と費用がかかると思われる。

もう一本の幹線道路（これが最も主要な通学路）は崩落こそ免れたものの、20～30tクラス



の岩が道路に落ちかけ、数週間にもわたり通行止めになった。その後、通行止めは解除されたが、いまだに電話線が垂れ下がり、電柱が道路に横たわったままになっている。

住民や子供たちが

通行する幹線道路でもあり、一日も早い完全復旧を期待するところであるが、町長の見解を問う。

答 このたびの7月豪雨により、浮島地区の町道に関しては、樽見・江ノ浦線、浮島中央線、浮島東線の3路線が法面の崩落等により通行不能となった。

人家や水道等のライフラインにも甚大な被害があったため、復旧にあたっては、まずこれらの復旧を優先し、あわせて町道の復旧作業を行った。

樽見・江ノ浦線の法面崩落場所には、巨大な岩石が法面にとどまっている箇所があり、落石の恐れがあるため、崩土を取り除いた後も通行者の安全を確保するため通行止



めを継続していた。

その後、巨大な岩石の小割り作業を進め、8月23日ようやく通行止めを解除することができた。

この間も、他の路線の復旧作業及び被災箇所への測量・調査等、災害査定の実験準備をあわせて進め、早期本復旧に向けて作業を行っているところである。